

たかはた 議会だより

No. 169

令和7年
9月定例会
10月20日号



議会だよりのページ



・Topic 1

9月定例会で決まったこと
主な審議結果 P2-5

・Topic 2

委員会の審議状況
常任委員会レポート P6-8
特集 町民インタビュー P9

・Topic 3

議員から行政に
一般質問 P10-17

令和6年度決算

令和6年度の決算について、決算特別委員会で審査し全ての決算を認定しました。身近な事業、事業費の大きなもの等を中心に紹介します。

(金額は万円未満切り捨て)

全会計支出額(使った金額)

265億6198万円

基金残高 **33億7455万円** 町債残高 **181億4005万円**

		歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計		166億2810万円	156億6311万円
特別会計	8会計 合計	58億9214万円	56億7087万円
公 営 企 業 会 計	病院事業	26億1260万円	27億1473万円
	資本的収支	3億128万円	4億5393万円
	水道事業	5億5831万円	4億6600万円
	資本的収支	4469万円	2億9832万円
	下水道事業	7億9756万円	7億6216万円
	資本的収支	3億8062万円	5億3282万円
総合計		272億1534万円	265億6198万円

総務費

45億3211万円

- ・住民票等コンビニ交付 **1254万円**
- ・高畠高校魅力化 **742万円**
- ・デュアルスクール受入 **253万円**



民生費

36億5902万円

- ・デマンド延伸実証実験 **160万円**
- ・子ども子育て支援事業計画策定ニーズ調査分析 **198万円**
- ・介護職員等キャリアアップ支援 **20万円**
- ・こども家庭センター整備 **529万円**

衛生費

11億4823万円

- ・環境計画推進 **962万円**
- ・出産・子育て応援交付金 **836万円**
- ・住民保健(検診など) **5328万円**



土木費

14億8330万円

- ・公園管理(中央公園バックスクリーン改修工事等) **4839万円**
- ・住宅リフォーム支援 **927万円**
- ・町道安久津高畠線 **5366万円**



をチェック



認定
全会一致

特徴的な事業

新庁舎建設

- ・新庁舎改築工事他 **22億3532万円**
- ・町産木材調達 **7402万円**



スマートIC整備
1億5399万円



百野橋橋梁補修 **6480万円**



亀岡地区公民館改築 **3億9179万円**



商工費

9億3937万円

- ・中小企業設備投資等補助 **1147万円**
 - ・リーダー経営人財育成塾 **990万円**
 - ・地域活性化・物価高騰対策 **3655万円**
 - ・デジタル行政ポイントサービス **590万円**
- ※ふるさと納税額 **5億5379万円**

農林水産業費

5億4337万円

- ・地域おこし協力隊 **367万円**
- ・有害鳥獣対策 **558万円**
- ・新規就農者支援関連 **3155万円**
- ・みどりの食糧システム戦略緊急対策 **251万円**

教育費

15億19万円

- ・日向洞窟遺跡西地区発掘調査報告書印刷 **588万円**
- ・総合交流プラザ照明LED化 **1139万円**
- ・全日本競歩大会 **392万円**



消防費

4億7055万円

- ・消防施設整備 **1343万円**
- ・防災資機材整備 **73万円**
- ・消防団員装備品購入 **105万円**



補正予算

11会計補正総額
9億7129万円可決
全会一致

主な会計

一般会計	7億3894万円 (総額 158億5336万円)
国民健康保険	7365万円 (総額 27億3711万円)
介護保険	1億4478万円 (総額 30億9080万円)
後期高齢者医療	377万円 (総額 3億2612万円)
宅地造成	347万円 (総額 2億 171万円)



▲防犯カメラ



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

契約の変更

育児時間の取得方法
の多様化等に係る経費
例を改正する必要が生
じたため。

全会一致で可決

地方公務員の
育児休業の多様化

町の選挙における選
挙運動用ビラとポス
ターの作成に係る経費
の限度額を引き上げる
もの。

選挙の公費負担改正

条例



▲工事中の八坂橋

変更額1920万円増
施工にあたり橋桁の
塗膜成分を調査したと
ころ、労働安全衛生法
により特定化学物質に
指定されている鉛とク
ロムが検出され、塗膜
剥離剤を用いた工法が
必要となつたため。

八坂橋補修工事

特集 まちの声 聞かせておごえ!



これからの高畠町に望むこと

たき 潤 美智子さん 亀岡地区（60代）

これからの高畠町は、年を重ねても安心して暮らせる町であってほしいと願っています。そのためには、身近で受けられる医療体制の充実、運転免許を返納した後も移動に困らない交通手段の確保、そして人と人が交流できる場づくりが大切だと思います。こうした環境が整うことで、誰もが笑顔で暮らせる町になると信じています。

もちろん町からの支援は必要ですが、私たち町民一人一人も、自分のできる範囲で少しずつ活動していくことが大切だと考えています。

先日、近所の高齢の方を訪ねてこられた町役場の職員さんと、その方がお話をされる場に偶然立ち会いました。優しく丁寧に寄り添う様子に、私も心が温かくなりました。

子どもからお年寄りまで、みんなに優しい町であってほしいと願います。



米作りで生活ができる農業を

さいとうみつはる 斎藤光春さん 屋代地区（70代）

私は稻作農家ではありませんが、一言申し上げます。昨年米不足から備蓄米の放出となり、米価が高騰しこの先に不安を感じます。

食糧管理法時代は政府が米を買い入れ、生産者、消費者、行政機関で米価を決めておりましたが、現在は需要と供給で決まります。

需要の見誤りが米価高騰となりました。

30年間米価は下がり続け、減反も強化され、小規模の稻作農家は廃業に追い込まれました。米作りで生活ができるように、戸別所得補償をしていただき、地域社会をも守ってほしい。



布石を打つ

おおかわらしげき 大河原茂紀さん 亀岡地区（70代）

埼玉県八潮市の道路陥没事故を頭の片隅に、町上下水道事業を窓口で確認。上水道は給水開始時からの長期年月での劣化は、計画的保全体制により健全な状態を維持。

下水道管は約10年の余裕の寿命。しかし地震大国の日本。マグニチュード6以上の地震の約2割は日本周辺で発生。高畠町が被る確率は決して低くない。

その備えとしての生活インフラ、特に上下水道の重点的対応を強く望む。

一般的な災害時対応は既に存在しているが、さらに一段階上の「コンティンジェンシープラン（緊急時対応計画）」を策定し、重点志向の予算措置を願う。

厳しい財政下での難問ではあるが、このプランのゴールを描き「布石を打つ」を今実践して頂きたい。



変わる時代の農業サポート

しらいしこうき 白石孝樹さん 亀岡地区（30代）
ビジネスネーム：井田孝樹さん

近年、農業を取り巻く環境は大きく変化し、気候変動への対応だけでなく、販売チャネルや経営の形も多様化しており、まさに転換期を迎えていたと感じています。

私は置賜の基幹産業である農業の魅力をもっと多くの方に届け、農業を取り巻く環境を少しでも良くしていきたい—そうした想いで、農業者の課題解決に伴走する個人事業を営んでいます。

販路拡大支援、農産物直売所運営支援、農家組織の事務代行、補助金の情報提供など生産者の挑戦に寄り添い、地域内外の関係者と連携しながら進めています。

農業・商工・観光が連携し、暮らす人にも訪れる人にも幸せを実感いただける仕組みづくりを、町とともに進めていけたら嬉しいです。

委員会活動レポート



【目的】	芳野 政明氏	【場所】	山形国際交流プラザ	【日時】	7月14日（月）12時30分～
議会の透明性向上	議会広報サポート 芳野 政明氏	議会活動や決定事項を住民に分かりやすく伝え、情報公開	議会の情報発信力を高め、町民との双向のコミュニケーションを促進すること。	議会の透明性向上	議会の情報発信力を高め、町民との双向のコミュニケーションを促進すること。

一方的な情報発信ではなく、住民の声を受け止める姿勢を示す。議会に対する理解と関心を高め、住民参加型のまちづくりにつなげる。

議員の広報スキル向上
他自治体との広報の共有
成功している議会広報の事例を知り、当町で活用できる方法を検討する。

議員の役割は重要度を増してきており、これまで以上に地方自治体の重責を担うこととなっている。一方、依然として町村議会は立候補において、様々な課題を抱え、男女・年齢構成の議員構成が大きく偏つており、年々議員のなり手が少なくなり、立候補における無投票や定数割れなどの傾向が多く見受けられ

【内容】
* 開催目的
【参加議員】
西方 茂太
【場所】
山形県自治会館
【日時】
7月30日（水）

議員の役割は重要度を増してきており、これまで以上に地方自治体の重責を担うこととなっている。一方、依然として町村議会は立候補において、様々な課題を抱え、男女・年齢構成の議員構成が大きく偏つており、年々議員のなり手が少なくなり、立候補における無投票や定数割れなどの傾向が多く見受けられ

議員の役割は重要度を増してきており、これまで以上に地方自治体の重責を担うこととなっている。一方、依然として町村議会は立候補において、様々な課題を抱え、男女・年齢構成の議員構成が大きく偏つており、年々議員のなり手が少なくなり、立候補における無投票や定数割れなどの傾向が多く見受けられ

広報広聴

広報研修会

議会広報クリニック

「何を決めているのか」「なぜそうなったのか」を丁寧に説明できる体制を整える。を推進する。

その他の活動

町村議会意見交換会

自治体の議会議員としての職責は同じなのに、大きな開きがある。議員のなり手として女性や若者等に立候補していただきたくの環境整備が必要。議員報酬を増額するとなると、それに応じた活動量を担保する必要がある。兼業の議員が多い実態を踏まえると、それは可能なのか。教育について意見交換し、議員のなり手確保や議員の活性化に資することを目的に開催されたり、議員の意見交換し、議員の活性化に資することを目的に開催された。議員の意見交換し、議員の活性化に資することを目的に開催された。

青柳 貴 議員



町報掲載 「がん征圧月間」の効果は

町長 がん検診受診への行動変容につながっている

問 每年町報9月号に「がん征圧月間」として、国の「がんを防ぐための新12か条」を掲載し、がん征圧に向けた活動をしているが、その効果をどう捉えているか。

答 町報では、がん予防の正しい知識と早期発見・早期治療の重要性を中心に発信しているが、効果を示すのは難しいものと考えている。

問 厚生労働省の委託機関のホームページ

答 町報では、がん征圧に向けた活動をしているが、その効果をどう捉えているか。

問 免疫力の有効性をどう情報発信するのか

答 町報では、がん征圧月間に合わせて、がんを防ぐための新12か条」を掲載し、がん征圧に向けた活動をしているが、その効果をどう捉えているか。

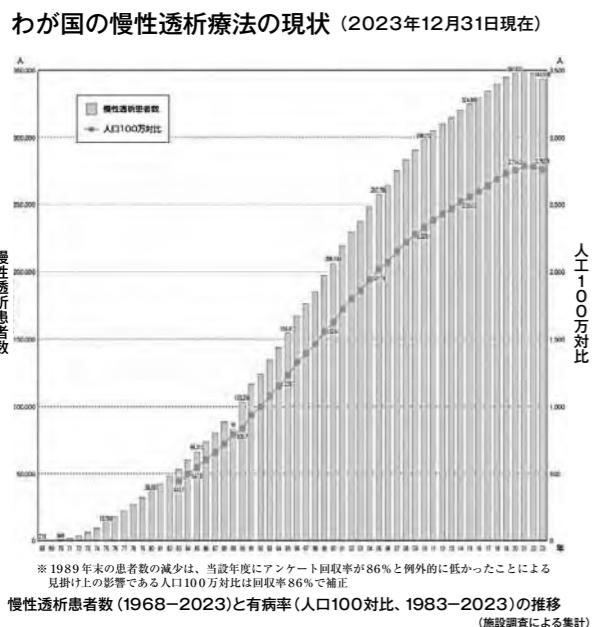
問 免疫力の有効性をどう情報発信するのか

答 町報では、がん予防の正しい知識と早期発見・早期治療の重要性を中心に発信しているが、効果を示すのは難しいものと考えている。

問 免疫力の有効性をどう情報発信するのか



動画配信はこちから



eGFRについては健康診査の結果で生活习惯病予防に向けた保健指導や糖尿病および慢性腎臓病重症化予防事業対象者の抽出、指導後の評価指標などに

秋葉晶子 議員

電気柵の広域設置に工夫を

町長 経済性や有効性を踏まえて県へ要請していく

問 現在、県単事業に町からの負担も合わせて助成している。この事業にはグレーチングは対象になっていないので、経済性や有効性を踏まえて県へ対象資材の要望を行っていく。

答 法改正により市町村町の判断で「緊急鋭

問 猪が可能となつた。県、国と連携し実施体制を整備してほしいと思ふが、町の考えは。

答 赤湯獣友会と調整を行い、体制づくりや条件面等について話し合を進め、慎重に判断していきたい。

答 地元監視補助員制度については、獣友会員が減少している中で非常に有効な制度であると考える。地元集落において取り組みを進めていただきを進め、慎重に判断していきたい。

問 生息状況調査を実施し、調査状況等の見える化を進め、獣害対策をまちづくりの一つとして捉え、仕組みづくりをしては。

答 「自分の農地は自分で守る」ことが基本であるので、地域全体として捉え、仕組みづくりをしては。

問 生息状況調査を実施し、調査状況等の見える化を進め、獣害対策をまちづくりの一つとして捉え、仕組みづくりをしては。

答 現在、被害のあつた農家へセンサー・カメラを貸し出して被害調査を行っている。また、鳥獣が罠にかかると携帯電話に連絡が来る装置も獣友会へ貸し出しで活用している。

問 近隣市町村との連携をとり、監視カメラでの生態や行動の確認、センサー・カメラ及びGPSによる調査を実施すべきと考えるがどうか。



▲地域ぐるみで柿の木の伐採を



動画配信はこちから

集落ごとの実状に合わせた環境点検を

問 集落内を巡回し、被害箇所を確認するこ

とが重要であり、被害対策実施隊に加え、定期的なパトロール体制や地元監視補助員制度などが必要と思うが。

まちづくりの視点で獣害対策に

問 生息状況調査を実施し、調査状況等の見える化を進め、獣害対策をまちづくりの一つとして捉え、仕組みづくりをしては。

問 生息状況調査を実施し、調査状況等の見える化を進め、獣害対策をまちづくりの一つとして捉え、仕組みづくりをしては。

答 現在、被害のあつた農家へセンサー・カメラを貸し出して被害調査を行っている。また、鳥獣が罠にかかると携帯電話に連絡が来る装置も獣友会へ貸し出しで活用している。

問 近隣市町村との連携をとり、監視カメラでの生態や行動の確認、センサー・カメラ及びGPSによる調査を実施すべきと考えるがどうか。

町民が望む 豊かさや暮らしづ

町長 安心して暮らせるまちづくりを進めていく



問 働く場所が必要だ

西町西工業団地の
拡張が必要では

問 観光地、資源の整



動画配信はこちから



▲賑わいを見せる瓜割石庭公園

問 教育環境等の検討を基に、特別支援教育分野に関する事項についても検討が必要と考える。

全ての子どもに
よりよい教育を

答 誰もが安心して日々を過ごせる住環境、将来に希望が持てる教育、やりがいを持つ取り組める仕事、ゆとりのある子育て、人と人とのつながりや地域への愛着や誇りを育む文化、豊かな自然との共生など、一人一人の声や想いが反映され、将来にわかつて安心して暮らせるまちづくりを進めていく。

問 町民が暮らしづらい、ずっと住み続けたいと感じるまちづくりを進めてはどうか。

答 一般財団法人日本立地センターの産業用地整備促進伴走支援事業を活用し、全国の産業用地整備および企業誘致の動向についての情報提供に加え、現在策定中の「高畠町産業立地ビジョン」に関して、事業スケジュールや課題に対する助言を受けている。今後も継続した支援を受けながら、地権者等との合意形成および財源の確保に取り組んでいく。

問 町内には産業団地の空きがない。現在の検討状況は。

答 本町は、魅力的な観光資源が数多くあり、どの観光地も多くの関係者の協力により維持管理がされている。町では、サイクリングで歴史を感じるスロットル通りを安心してできるよう「ガバメン

トクラウドファンディング」の寄付金を活用し、緑道沿いのベンチや花壇の整備、遊具等の改修を行い、既存の価値ある地域資源の再整備を図っていく。

問 玄関前の除雪車による雪塊の処理が高齢者の課題。高畠まるごとおうえんポイントとの連携など、新たな地域ボランティアが必要ではないか。

答 町では、除排雪に関する相談窓口の委託事業や高齢者世帯等への除雪費助成金事業を実施している。また、町社会福祉協議会では、自治区への除排雪事業への助成やボランティア支援を行っているが、今後ボレント制度の活用も含めて、地域の中で助け合う互助の仕組みづくりの支援について検討していく。

文化のまちづくりのこれからは

町長 様々な団体の活動支援を検討する



動画配信はこちから

答 訪問介護等の近年の町の実情は、訪問看護事業や訪問介護事業の事業所数に増減はない、サービスの提供体制は安定している。町も現状を把握しながら、関係機関と連携し、介護保険制度の適切な運営と事業の充実を図ることとしている。

問 感受性の強い時代に、しっかりとした平和教育を行い、次世代へつなげていくことをどのように考えるか。

答 授業の中で、教科書や資料を通じ、戦争の歴史を想像し、共感する力を育むことは非常に大切である。過去の悲惨な出来事について学ぶとともに、今、世界で起こっている争いにも目を向けて、同じ過ちを繰り返さぬよう、平和に対する意識を高めることが、子どもたちにとって、非常に重要であると考える。



▲生き生きとした文化事業を望む

答 訪問介護支援としての自主事業協会の復活など考えてみてはどうか。町民自らが見たいもの、聴きたいものの選択に参加できることで、文化事業は必ず生き生きとした町民の姿を見出せるものと思うがどうか。

答 ①様々な文化団体が活動しているが、もっともっと充実させるべく、支援が重要ではないか。②ねほだれ大会のような楽しい舞台づくりをもう一度試みることはできないか。

問 協会の復活については、運営方法等の面で難しいと考えている

答 訪問介護や訪問看護が要望されているが、全国的に自治体によつては、特に訪問看護を事業を展開していく。

問 訪問介護等の実情は

答 なつていて「ねほだれ大会」のよう、出演者も観客も一緒に喜びを分かち合えるような事業を展開していく。

問 平和教育の取り組みは

答 そして、必ず満席となつていて「ねほだれ大会」のよう、出演者が、町内には産業団地の空きがない。現在の検討状況は。

問 教育環境等の検討を基に、特別支援教育を必要とする子や別室登校の子が増えている。特別支援学校や学びの多様化学校を設置する考えはないか。

き・ら・り

まほろば人

日頃の鍛錬を礎に常に万全を期す

高畠町消防団第5分団



今回の“きらり”まほろば人は、高畠町消防団第5分団（和田地区）幹部の皆さんです。

地域の火災予防に努め、日々昼夜を問わず活動を続けています。年々、団員が減少している中でも部の再編成を行なながら、限られた人数で組織の維持や活性化に尽力しています。

地域に必要な組織である、今後の消防団活動をどのように考えておられるか話を伺いました。

消防団の現在の活動体制状況は？

第5分団の団員数は124人で町内の消防団の中で最も団員が多い組織となっております。しかし、昨今の少子化により団員数は減少傾向にあり、勤務体制の多様化も重なり、万全な出動対応の必要性から令和7年度、班統廃合により3班減の11班編成となりました。

基礎的な訓練や点検方法をベテラン団員が新人団員に教えることで、技能向上を図り、有事の際に万全な体制で活動に当たられるように日頃から努めています。

消防団活動の魅力とは？

地域住民の安全安心を守る組織として、休日を削り訓練活動をする必要があり大変なところもありますが、年齢層が幅広い消防団は様々な活動の中で若手団員にとって人生の先輩から教えてもらえることはたくさんあります。

消防団活動は地域とのつながり無くして行うこととはできません。これから地域の担い手となっていく若手団員が、地域の方々と「共助」の精神の

もと活動をしていくことが和田地区民への信頼を得ると共に、活性化の一助となると考えております。

新たな仲間にメッセージ

消防団とは、地域とつながるボランティア団体です。知識や技能は先輩団員が熱心に教えてくれるのでまったく心配はいりません。仲間と協力して災害から町を守ることのやりがいと一緒に感じてみませんか。

地域の皆様にメッセージ

最近は火災出動だけではなく、異常気象による災害級の大雪など消防団活動の範囲は広がっております。地域の方々との連携が被害を最小限に抑えることにつながります。

消防団として有事の際に万全な体制で活動に当たれるよう日頃の訓練を実施して参ります。

今後とも連携体制強化の継続をよろしくお願いいたします。

委 員
副 員
委 員
員 長
員 長

編
集
委
員

西 佐 金 木 秋 竹 青
方 藤 子 村 葉 田 柳
茂 純 瞳 雅 晶 正
太 子 夫 博 子 樹 貴

